



# 大阪府立東住吉高等学校

## 共生推進教室



将来の  
進路実現

充実した  
学校生活

### ★東住吉高校共生推進教室

東住吉高校は、普通科と芸能文化科を併せもつユニークな学校で、『二兎を獲る』を教育目標に掲げています。『二兎』とは「将来の進路実現」と「充実した学校生活」のことで、この『二兎』を追い求める活気に満ちた学校です。

令和2年度には、なにわ高等支援学校(大阪市浪速区)の共生推進教室が設置されました。共生推進教室でも『二兎を獲る』を目標とし、将来の社会生活をめざして自立心や社会性などの力を身につけるとともに、たくさんの仲間と過ごし、学校行事やクラブ活動などの様々な体験を通して、充実した学校生活を送っています。

※学籍は「なにわ高等支援学校」です。卒業時には、なにわ高等支援学校より「卒業証書」、東住吉高校より「修了証書」が授与されます。

### ★東住吉高校での生活

学校までは自主通学です。通学バスはありません。

時間割表(令和4年度入学生第1学年の例)

	月	火	水	木	金	
	8:15	共生SHR		共生SHR		
	8:30	クラスSHR		クラスSHR		
1	8:40~9:30	共生数学	なにわスクーリング	体育	自立活動	自立活動
2	9:40~10:30	共生国語		地理総合	共生数学	共生英語
3	10:40~11:30	保健		共生国語	現代の国語	現代の国語
4	11:40~12:30	生物基礎		共生英語	歴史総合	生物基礎
		昼休み		昼休み		
5	13:15~14:05	歴史総合		芸術	志	家庭総合
6	14:15~15:05	自立活動		芸術	LHR	家庭総合
7	15:15~16:05	体育			地理総合	
		クラス終礼		クラス終礼		
		共生終礼		共生終礼		
		クラブ活動等				

共生SHRでは、連絡帳の提出、予定の確認、今日の目標の確認などをします。

クラスでの授業とは別に、共生での授業もあります。

昼食：各クラス、食堂など  
※給食はありません。

共生終礼では、1日の振り返り、連絡帳の返却、翌日の予定の確認などをします。

火曜日は、なにわ高等支援学校で職業についての学習や実習をします。

### ★なにわ高等支援学校での1日

なにわ高等支援学校での授業内容

1年	登校指導	職業基礎	共通
2年	職業基礎	専門	共通
3年	職業基礎	職業基礎	専門

※共通は、なにわの生徒とともに受けます  
(健康体力・接客販売)

※専門…2年：ファーム、3年：ファーム・マシン

※3年生の職業基礎：清掃・オフィス

職業基礎(清掃)



専門(ファーム)

## ★東住吉高校での授業について

### ●授業形態について

- ・教室で普通科の生徒とともに受ける授業（支援サポートあり／なし）
- ・共生生徒のみで受ける小集団での授業

### ●考査・成績・進級について

- ・考査は小集団授業の科目を中心に実施（別問題や持ち込み可などの工夫・配慮あり）
- ・成績は個別の指導計画に基づく個人内評価
- ・支援学校籍のため、高校の「単位認定」はない

## ★充実した学校行事



体育祭での演奏



文化祭



修学旅行

学校行事やクラブ活動などは東住吉高校の生徒とともに参加し、充実した学校生活を送っています。

## ★就労に向けて

卒業後の就労に向けて、校内実習や職場実習を進めていきます。

### 校内実習・職場実習年間計画

1年	2年	3年
6月 校内作業実習(なにわ)	7月 校内作業実習(東住吉)	随時 職場実習
7月 校内作業実習(東住吉)	9月 職場実習①	
8月 就労移行支援事業所体験実習	1月 職場実習②	
1月 職場実習		

### その他の取り組み

- ・企業見学会
- ・公共職業能力開発施設等見学会
- ・進路懇談 など



校内作業実習

## ★入学者選抜について <令和4年度>

※入学者選抜に関する最新情報や詳細は、必ず大阪府教育庁の発表をご確認ください。

### ≪応募資格≫

本人及び保護者の住所が原則として大阪府内にある者のうち、次の①～③のいずれにも該当する者。

- ①大阪府内の中学校を卒業する見込みの者
- ②療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいがあると判定を受けた者
- ③自主的な通学が可能である者

### ≪選抜≫

- ・学力検査は実施せず、面接を実施します。面接は個人面接で行い、保護者の同伴を原則とします。
- ・選抜の資料は、調査書、推薦書及び面接です。



大阪府立東住吉高等学校

〒547-0033 大阪市平野区平野西2-3-77

TEL 06-6702-3838 FAX 06-6700-5131

令和4年7月作成